

(3) 天然記念物

【特別天然記念物】

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
1	田島ヶ原サクラソウ 自生地		荒川沿いに残されたサクラソウの自生地。 サクラソウをはじめ、約 250 種の植物が 生育している。江戸時代にはサクラソウ 見物や園芸化が盛んに行われ、親しまれ た。現在は火入れにより氾濫原特有の植 生が保たれている。4.12ha。	さいたま市 桜区西堀字 南原 3137 ほか (35.8380, 139.6146)	さいたま市	(天然記念物) 大 9・7・17 (追加指定) 昭 2・5・14 (特別天然記念物) 昭 27・3・29 (名称変更) 昭 32・7・31	J R 武蔵野線 西浦和駅
2	牛島のフジ	1 本	幹は根元から分岐し、総根回り約 10m。 花穂は長さ 2.7m に達する、随一のノダフ ジ園芸品種。	春日部市牛 島 786 (35.9851, 139.7734)	個人	(天然記念物) 昭 3・1・18 (特別天然記念物) 昭 30・8・22	東武野田線 藤の牛島駅
3	御嶽の鏡岩		金鑽神社の背後、御嶽山の中腹にある、 岩盤に生じた断層鏡肌。赤鉄石英片岩。 表面は極めて平滑で鏡のように磨かれて いる。高さ 4m、幅 9m。	児玉郡神川 町二ノ宮 751、渡瀬 1418-2 (36.1788, 139.0706)	金鑽神社 ほか (神川町)	(天然記念物) 昭 15・8・30 (特別天然記念物) 昭 31・7・19	J R 八高線 丹荘駅

地域を定めず指定したもの（うち埼玉県が主な生息地に含まれるもの）

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
4	カモシカ		本州・四国・九州の山岳地帯に生息する、 日本特産の哺乳動物。	(埼玉県ほ か 29 都府 県が主な生 息地)		(天然記念物) 昭 9・5・1 (特別天然記念物) 昭 30・2・15	

【天然記念物】

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
1	石戸蒲ザクラ	1 本	エドヒガンとヤマザクラの自然雑種と考 えられている。指定時は 4 つの幹からな り、根周り 10.9m あった。同じ日に全国 で 5 件のサクラが天然記念物に指定され、 日本五大桜といわれた。現在の樹高は 14.7m、幹周り 3.03m・1.55m・0.66m (H22 時点)。	北本市石戸 宿 3-119 (36.0065, 139.5128)	東光寺 (北本市)	大 11・10・12 (追加指定) 令和 3・10・11	J R 高崎線 北本駅
2	長瀬		結晶片岩の岩石段丘である岩畳や、世界 で初めて発見された紅廉石を多く含む紅 廉石片岩、褶曲、断層、ポットホールとい った様々な地質現象が観察できる。親鼻橋 上流地点から高砂橋まで、延長約 4 km。	秩父郡長瀬 町・皆野町 (36.0933, 139.1163)	国ほか (長瀬町)	大 13・12・9	秩父鉄道 長瀬駅、 上長瀬駅
3	吉見百穴ヒカリゴケ 発生地		生涯の一時期に球状のレンズ状細胞を多 くもち、蛍光色の反射光を出すため光っ て見える。主に本州中部以北の冷涼な山 地に分布し、関東平野に発生するのは植 物学上貴重。	比企郡吉見 町北吉見 393 (36.0397, 139.4213)	個人 (吉見町)	昭 3・11・30	東武東上線 東松山駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
4	与野の大カヤ	1 本	カヤの巨樹として有数であり、応永年間(1394-1428) からその名が知られていたともいわれる。現在の樹高は 21.7m、幹周り 7.66m (H22 時点)。	さいたま市中央区鈴谷 1083-1 (35.8720, 139.6271)	妙行寺 (さいたま市)	昭 7・7・25	J R 埼京線 南与野駅
5	武甲山石灰岩地特殊植物群落		武甲山北側の石灰岩地には、特殊な環境に適応し、チチブイワザクラなどの特産種や好石灰岩植物、ミヤマスカシユリなどの分布上貴重な種が、数多く生育している。その一部が天然記念物に指定されている(鉱区のため立入り不可)。	秩父郡横瀬町横瀬	武甲共有山組合	昭 26・6・9 (追加指定) 昭 58・3・29 (一部解除) 昭 63・3・29	西武秩父線 横瀬駅
6	三波石峡		三波石と呼ばれ庭石としても珍重された御荷鉾緑色岩類や三波川結晶片岩類がよく露出し、その転石も多い。三波川変成帯の名前の由来にもなっており、地質学上重要。延長約 1.5km。	児玉郡神川町矢納 1-1 ほか (36.1299, 139.0265)	延命寺ほか (神川町・群馬県藤岡市)	昭 32・7・3	
7	宝蔵寺沼ムジナモ自生地		植物学者牧野富太郎が発見した沈水性食虫植物ムジナモの、国内最後の自生地。台風による流出や環境変化により一時は見られなくなって放流が続けられ、近年は科学的知見に基づいた保護の取組みが実り、継続した越冬が実現し自生状態が復活した。	羽生市三田ヶ谷 1302 ほか (36.1707, 139.5994)	羽生市	昭 41・5・4 (追加指定) 平 2・4・27	東武伊勢崎線 秩父鉄道 羽生駅
8	平林寺境内林		東京近郊では貴重となった、武蔵野の雑木林の面影の残る広大な境内林。コナラ林やアカマツ林等からなる。43ha。平成 26 年度から令和 2 年度まで平林寺境内林天然記念物再生事業が行われた。	新座市野火止 3-1083 ほか (35.7934, 139.5586)	平林寺ほか	昭 43・5・28 (追加指定) 昭 51・5・12	J R 武蔵野線 新座駅
9	古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群		新生代新第三紀中新世、秩父盆地周辺に広がっていた「古秩父湾」の誕生から終焉までを物語る露頭(6 件)と、当時の生物群集及び古環境の変遷を示す重要な海棲哺乳類の化石標本(9 件)。			平 28・3・1	
	前原の不整合		奥秩父の山々を構成する古生代～中世代の地層が一度隆起して浸食された上に、新生代の「古秩父湾」の地層が不整合の関係で堆積している。両層の地質年代には 1 億年以上の開きがある。	秩父郡皆野町大字大淵字橋場 429 ほか (36.0691, 139.0858)	個人 (皆野町)	(県指定) 平 7・3・17 (国指定) 平 28・3・1	秩父鉄道 皆野駅
	犬木の不整合		中生代白亜紀(恐竜時代)の地層「山中層群」の上に、新生代(哺乳類が繁栄していった時代)の「古秩父湾」の地層が堆積した不整合。付近からはパレオパラドキシア三山標本も発掘されている。	秩父郡小鹿野町三山字小金沢 19 ほか (36.0244, 138.9624)	個人 (小鹿野町)	(県指定) 平 7・3・17 (国指定) 平 28・3・1	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
	取方の大露頭		高さ約 50 m、幅約 800 m の大露頭。関東山地一帯の沈降により古秩父湾が深海の時代を迎えたことを示す、海底地滑りにより形成された砂岩と泥岩の互層を観察することができる。	秩父市下吉田字番戸山 7999 の一部 ほか (36.0383, 139.0469)	国ほか	平 28・3・1	秩父鉄道 皆野駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
9	ようばけ		高さ約 100 m、幅約 400 m の大露頭。古秩父湾は再び浅くなり、同時代の地層からは多くの化石が産出する。大正 5 年、盛岡高等農林学校 2 年次の宮沢賢治が地質巡検で訪れたともいわれている。	秩父郡小鹿野町長留字サス 1 ほか (36.0168, 139.0470)	個人 (小鹿野町)	(町指定) 昭 37・9・20 (県指定) 平 27・3・13 (国指定) 平 28・3・1	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
	大野原パレオパラドキシア化石産地		昭和 47 年に発見され、昭和 50・52 年に発掘された、パレオパラドキシア大野原標本の産出地。国内 2 例目、秩父地域初の全身骨格。近隣からはチチブクジラなど多くの化石が発見されている。	秩父市大野原字築瀬 2123 地先 (36.0285, 139.0868)	国	平 28・3・1	秩父鉄道 大野原駅
	新田橋の礫岩露頭		断層運動に伴って東側が隆起し、古秩父湾が終焉に向かった時期を代表する露頭。周辺の陸域から供給された角がとがった礫を含む地層を観察することができる。	秩父郡横瀬町大字横瀬字寺坂 1902-1 ほか (35.9878, 139.1054)	横瀬町	平 28・3・1	西武秩父線 横瀬駅
	海棲哺乳類化石群	9 件	秩父市大野原産出パレオパラドキシア骨格化石 小鹿野町般若産出パレオパラドキシア骨格化石 小鹿野町三山産出パレオパラドキシア骨格化石 秩父市寺尾産出パレオパラドキシア頭骨化石 皆野町大淵産出パレオパラドキシア化石 秩父市栃谷産出パレオパラドキシア骨格化石 秩父市大野原産出チチブクジラ骨格化石 秩父市蓼沼産出チチブクジラ骨格化石 小鹿野町般若産出オガノヒゲクジラ頭骨化石	秩父郡長瀬町大字長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の博物館)	(一部県指定) 平 11・3・19 平 17・3・22 (国指定) 平 28・3・1	秩父鉄道 上長瀬駅

地域を定めず指定したもの（うち埼玉県が主な生息地に含まれるもの）

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 (備考)
10	越ヶ谷のシラコバト		灰色にバラ色が混じった色で、首に黒い首輪模様のある、小型のハト。関東一円に生息したが一時激減し、保護が必要な著名の動物として指定された。生垣防風林等に営巣。埼玉県の県鳥であり、県のマスコット「コバトン」のモデル。近年都市化の影響等により減少している。	(主な生息地が越谷市とその周辺)		昭 31・1・14	
11	ミヤコタナゴ		関東地方だけに分布する全長 3～5.5cm の小形の淡水魚。かつて県内各地に分布したが、現在は野生絶滅。所沢市・滑川町で人工繁殖による系統保存と野生復帰を目指す取り組みが進められている。	(主な生息地が埼玉県・栃木県・千葉県・神奈川県)		昭 49・6・25	
12	ヤマネ		1 属 1 種の日本特産の齧歯類で、本州・四国・九州の山地帯に生息する。冬季は樹洞などでボール状になって冬眠する。	(主な生息地が本州・四国・九州)		昭 50・6・26	